

作成日 2016年11月15日

改訂日 2017年07月07日

版 : 01

安全データシート

1. 化学物質等及び会社情報

製品名	: NIKKOL NIKKOMIX SR
会社名	: NIKKO CHEMICALS (SINGAPORE) PTE. LTD.
住所	: 39 Ayer Merbau Road, Jurong Island Singapore 627718
担当部門	: Quality Assurance
電話番号	: +65-6896-6552
FAX番号	: +65-6896-6557
メールアドレス	: info-msds@nikkol.co.jp
緊急連絡先	: 日光ケミカルズ株式会社 営業部 03-3662-0371
推奨用途及び使用上の制限	:

2. 危険有害性の要約

最重要危険有害性及び影響	:
GHS分類	:
物理化学的危険性	: 分類基準に該当しない
健康に対する有害性	:
急性毒性(経口)	: 区分4
急性毒性(経皮)	: 分類できない
急性毒性(吸入:ガス)	: 分類できない
急性毒性(吸入:蒸気)	: 分類できない
急性毒性(吸入:粉塵、ミスト)	: 分類できない
皮膚腐食性/刺激性	: 区分2
眼に対する重篤な損傷/眼刺激性	: 区分2
呼吸器感作性	: 分類できない
皮膚感作性	: 分類できない
生殖細胞変異原性	: 分類できない
発がん性	: 分類できない
生殖毒性	: 分類できない
特定標的臓器毒性 (単回暴露)	: 分類できない
特定標的臓器毒性 (反復暴露)	: 分類できない
吸引性呼吸器有害性	: 分類できない
環境に対する有害性	:
水生環境有害性・急性	: 区分2
水生環境有害性・慢性	: 分類できない
オゾン層への有害性	: 分類できない

GHSラベル要素

絵表示又はシンボル



注意喚起語

: 危険

危険有害性情報

: 皮膚刺激
重篤な眼の損傷
水生生物に非常に強い毒性

注意書き

【予防策】

【対応】

- : 取扱い後はよく洗うこと。
- : 取扱い後は良く洗うこと。
- 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。
- 環境への放出は避けること。
- 飲み込んだ場合: 気分が悪い時は、医師に連絡すること。
- 皮膚に付着した場合: 多量の水と石鹼で洗うこと。
- 眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
- 皮膚刺激が生じた場合: 医師の診断/手当てを受けること。
- 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯すること。
- ただちに医師に連絡すること。
- 流出物を回収すること。
- : 密閉容器に保管すること。
- : 内容物/容器を国際/国/都道府県/市町村の規則に従って廃棄すること。
- : 安全データシート(SDS)を参照して下さい。

【保管】

【廃棄】

【使用上の注意】

3. 組成、成分情報

単一製品・混合物の区別

官報公示整理番号(化審法)

官報公示整理番号(安衛法)

成分及び含有量

: 混合物

: 有り

: 有り

成分

含有量(%)

官報公示整理番号

CAS番号

ポリオキシエチレンヤシ油脂脂肪酸グリセリル

42-48

7-188

68201-46-7

ポリオキシエチレンラウリルエーテル

42-48

7-97

68439-50-9

水(精製水)

7-13

7732-18-5

4. 応急措置

吸入した場合

- : 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
- ただちに医師の診断/手当てを受けること。

皮膚に付着した場合

- : 多量の水と石鹼で洗うこと。
- 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯すること。
- ただちに医師の診断/手当てを受けること。

目に入った場合

- : 水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
- 眼の刺激が続く場合は、医師の診断/手当てを受けること。

飲み込んだ場合

- : 水で口の中を洗浄し、コップ1~2杯の水又は牛乳を飲ませる。
- ただちに医師の診断/手当てを受けること。

5. 火災時の措置

消火剤

- : 水噴霧、泡消火剤、粉末消火剤、炭酸ガス、乾燥砂類

使ってはならない消火剤

- : 棒状放水

特有の危険有害性

- : 燃焼ガスには、一酸化炭素、二酸化炭素等の有害ガスが発生する恐れがあるので、消火作業の際には、煙の吸入を避ける。
- こぼれた場所は、滑りやすい恐れがある。

特有の消火方法

- : 火元への燃焼源を断ち、適切な消火剤を使用して消火する。
- 消火作業は、可能な限り風上から行う。関係者以外は安全な場所に退避させる。
- 消火作業は、可能な限り風上から行う。
- 消火のための放水等により、製品もしくは化学物質が河川や下水に流出しないよう適切な措置を行う。
- : 消火作業では、適切は保護具(手袋、眼鏡、マスク等)を着用する。

消火を行なう者の保護

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

- : 作業には、必ず保護具(手袋、眼鏡、保護服、安全靴)を着用する。多量の場合、人を安全に退避させる。
- 必要に応じた換気を確保する。

環境に対する注意事項

- : 漏出物を河川や下水に直接流してはいけない。

除去方法

- : 少量の場合、吸着剤(土、砂、ウエス等)で吸着させ取り除いた後、残りをウエス、雑巾等でよく拭き取る。
- 大量の水で洗い流す。多量の場合、盛り土で囲って流出を防止し、安全な場所に導いてからドラム等に回収する。
- : 付近の着火源となるものを速やかに除くとともに消火剤を準備する。
- 床に漏れた状態で放置すると、滑り易くスリップ事故の原因となるため注意する。
- 漏出物の上をむやみに歩かない。
- 火花を発生させない安全な用具を使用する。

二次災害の防止策

- : 付近の着火源となるものを速やかに除くとともに消火剤を準備する。
- 床に漏れた状態で放置すると、滑り易くスリップ事故の原因となるため注意する。
- 漏出物の上をむやみに歩かない。
- 火花を発生させない安全な用具を使用する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

- | | |
|-----------|---|
| 技術的対策 | : 取り扱い場所の近くに、洗眼及び身体洗浄のための設備を設置する。 |
| 注意事項 | : 火気厳禁 |
| 安全取扱い注意事項 | : 作業場の換気を十分行う。保護眼鏡、保護手袋等の適切な保護具を着用。
取り扱い後は、手、顔等をよく洗い、うがいをする。 |

保管

- | | |
|-----------|------------------------|
| 適切な保管条件 | : 涼しい所／換気の良い場所で保管すること。 |
| 安全な容器包装材料 | : 火気厳禁
情報なし |

8. 暴露防止及び保護措置

設備対策

- | |
|---|
| : 蒸気またはヒュームやミストが発生する場合は、局所排気装置を設置する。
取り扱い場所の近くに、洗眼及び身体洗浄のための設備を設置する。
設定されていない |
|---|

管理濃度

許容濃度

- | | |
|----------|-------------------------|
| 日本産業衛生学会 | : 設定されていない
(2008年度版) |
| ACGIH | : 設定されていない
(2008年度版) |

保護具

- | | |
|------------|---------------------------------|
| 呼吸器の保護具 | : 通常の取り扱いでは特に必要ない。 |
| 手の保護具 | : 不浸透性保護手袋 |
| 目の保護具 | : 側板付き保護眼鏡(必要によりゴーグル型または全面保護眼鏡) |
| 皮膚及び身体の保護具 | : 長袖作業衣 |

適切な衛生対策

- | |
|--------|
| : 情報なし |
|--------|

9. 物理的及び化学的性質

物理的状态

- | | |
|----|--------------|
| 形状 | : 液体 |
| 色 | : 透明～微黄色 |
| 臭い | : 特異な匂い |
| pH | : 4～8(5%水溶液) |

物理的状态が変化する特定の温度／温度範囲

- | | |
|----------------|----------------------------|
| 沸点 | : データ無し |
| 融点(凝固点) | : データ無し |
| 引火点 | : >224℃ |
| 燃焼又は爆発特性 | |
| 燃焼又は爆発限界 上限・下限 | : 上限: データ無し 下限: データ無し |
| 蒸気圧 | : データ無し |
| 蒸気密度 | : データ無し |
| 比重 | : データ無し |
| 溶解度(水) | : データ無し |
| 溶解度(溶媒) | : データ無し |
| n-オクタノール／水分配係数 | : データ無し |
| 自然発火温度 | : データ無し |
| 分解温度 | : データ無し |
| 臭いの閾値 | : データ無し |
| 蒸発速度 | : データ無し |
| 燃焼性(固体、ガス) | : データ無し |
| その他のデータ | : 無し |

10. 安定性及び反応性

安定性	: 通常の使用では安定。
反応性	: 通常の使用では安定。
避けるべき条件	: 直射日光、下記と高温に注意
避けるべき材料	: 強い酸、酸化剤
混触危険物質	: データ無し
危険有害な分解生成物	: 一酸化炭素
その他	:

11. 有害性情報

急性毒性(経口)	: 情報なし
急性毒性(経皮)	: 情報なし
急性毒性(吸入:ガス)	: 情報なし
急性毒性(吸入:蒸気)	: 情報なし
急性毒性(吸入:粉塵、ミスト)	: 情報なし
皮膚腐食性/刺激性	: 情報なし
眼に対する重篤な損傷/刺激性	: 情報なし
呼吸器感作性又は皮膚感作性	: 情報なし
生殖細胞変異原性	: 情報なし
発がん性	:
IARC	: 認定されていない
NTP	: 認定されていない
日本産業衛生学会	: 認定されていない
生殖毒性	: 情報なし
特定標的臓器毒性－単回暴露	: 情報なし
特定標的臓器毒性－反復暴露	: 情報なし
吸引性呼吸器有害性	: 情報なし

12. 環境影響情報

生態毒性	: 情報なし
残留性／分解性	: 情報なし
生体蓄積性	: 情報なし
土壤中の移動性	: 情報なし
オゾン層への有害性	: 情報なし

13. 廃棄上の注意

焼却炉で少量ずつ焼却処理するか、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託処理する。

14. 輸送上の注意

国内規則	陸上輸送: 消防法、労働安全衛生法等に定められている運送方法に従う。 海上輸送: 船舶安全法に定められている運送方法に従う。 航空輸送: 航空法に定められている運送方法に従う。
------	--

国際規則	航空輸送はIATA及び海上輸送はIMDGの規則に従う。
------	-----------------------------

国連分類・国連番号:	該当しない
IATA: UN Number	: UN3082
Proper Shipping Name	: Environmentally Hazardous Substance, Liquid, n.o.s. (Polyoxyethylene (3) Lauryl Ether)
Class	: 9
Packing Group	: III

IMDG: UN Number	: UN3082
Proper Shipping Name	: Environmentally Hazardous Substance, Liquid, n.o.s. (Polyoxyethylene (3) Lauryl Ether)
Class	: 9
Packing Group	: III

輸送の特定の安全対策及び条件	”取り扱い及び保管上の注意”の章を参照。 輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実にを行う。 火気注意
緊急時応急措置指針番号	171

15. 適用法令

国内適用法令

化学物質排出把握管理促進法	:	第一種指定化学物質407号 ポリ(オキシエチレン)=アルキルエーテル (C=12-15 およびその化合物に限る) 100%
化審法(特定化学物質、監視化学物質)	:	該当しない
労働安全衛生法	:	該当しない
毒劇物取締法	:	該当しない
消防法:	:	危険物第4類第三石油類(非水溶性)
高圧ガス保安法:	:	該当しない
火薬類取締法:	:	該当しない
船舶安全法:	:	腐食性物質(危告示別表第1、等級9)
航空法:	:	施行規則第194条危険物告示別表示第1その他の有害物件
その他の法令	:	海洋汚染防止法: 個品輸送 海洋汚染物質(P) に該当

物質登録情報:

ENCS(Japan)	:	7-97、7-188
TSCA(USA)	:	有り
EINECS(EU)	:	ポリマー, 500-213-3
AICS(Australia)	:	有り
DSL(Canada)	:	有り
ECL(Korea)	:	KE-13387
IECSC(China)	:	有り

16. その他の情報

記載内容は作成時点で入手できた資料、データ等に基づいておりますが、含有量、物理化学的性質などの値は規格値ではありません。また、注意事項は通常の取扱いを対象としたものなので、特殊な取扱いの場合には、使用者の責任においてご配慮をお願いします。